

H27 授業改善プラン 小学校 第5学年 理科

日常生活の一場面において複数の自然現象を見出し、それらを関係付けて考え、表現する力を育成！

指導について

- ・調査問題概要／市正答率

『植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光のあたり方を適用して、その内容を記述できるかどうかをみる』問題 2(5)／市正答率 51.1%

- ・課題

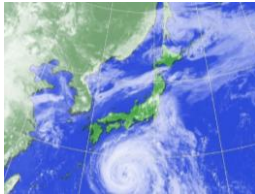
日常生活の一場面において自然現象を見出す力、それら複数の自然現象を関係付けて考える力、そしてそれらの関係を自分で考え、言葉で表現する力に課題がある。

- ・指導の手立て

具体的な日常生活の一場面として台風接近の場面を設定する。その台風接近に伴い、単元を貫く課題として「自分はどの行動すればよいか」考えることを位置づける。特に、単元の導入では、「台風の動き方」と「台風が近づいたときの天気」どう行動するか考える。単元の終末では、その2つの要素を関係付けて考え、言葉で表現する力を育成する。

【教材名 台風と天気の変化】

【指導計画と評価】

時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価
1	今日の雲の衛星画像から、明日の休日はどんな過ごし方をするのがよいだろうか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛星画像をもとに次の日の過ごし方とその理由について考える。 例) ①自転車で出かける <li style="padding-left: 20px;">②家の中で過ごす <li style="padding-left: 20px;">③傘を持ち、歩いて外出 ・「台風が近づいたときの天気」と「台風の動き方」が分かれば、課題を解決できることに気づく。 <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の課題を単元を貫く課題として設定し、毎時間ごとの課題に必然性と関心を高めるようにする。 ・過ごし方を何択かに絞っておくことで、意見が広がり過ぎたり、的外れな意見がでたりしないようにする。 ☆「台風が近づいたときの天気」と「台風の動き方」が、次の日の過ごし方に影響を与えることが理解できたか。(知識・理解/記述・発言)
	台風はどのように動くのか。	教 P86～88
	<ul style="list-style-type: none"> ○台風の動き方について調べる。 ・複数の衛星画像や映像等の資料をもとに、台風がどこで発生し、どの方角へ移動していくかを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の動き方のきまりを見つけやすくするために、十分な量の資料を提示する。 ☆資料をもとに考察し、台風の動き方のきまりについて調べることができたか。(技能/記述・発言)
2	台風が近づいたとき、どんな天気(雨量・風の強さ)になるか。	教 P84～88
	<ul style="list-style-type: none"> ○台風が近づいたときの天気(雨量・風の強さ)について調べる。 ・アメダスの雨量情報や教科書の写真、映像等を用いて、台風が近づいたときの天気を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風が近づいたときの天気が明確になるように、いくつかの資料を提示する。 ☆資料をもとに、台風が近づいたときの天気について調べることができたか。(技能/記述・発言)
3	今日の雲の衛星画像から、明日の休日はどんな過ごし方をするのがよいだろうか。	教 P89～91
	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめ、振り返りをする。 ・今までの学習の確認をする。 ・根拠を明確にして、次の日の過ごし方を書く。 ・教科書の「確かめよう」「学んだことを生かそう」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「台風の動き方」や「台風が近づいたときの天気」を関係付けて次の日の過ごし方を考え、自分の言葉で表現するように指示をする。 ☆「台風の動き方」と「台風が近づいたときの天気」を関係付けて次の日の過ごし方を考え、自分の言葉で表現できたか。(思考・表現/記述・発言)